

Basic Information / 基本情報

Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2013年8月19日 から 2013年8月25日

Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

35人

Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：〇〇市ボランティア団体等

見附小学校

見附第二小学校

新潟小学校

名木野小学校

田井小学校

葛巻小学校

上北谷小学校

今町小学校

中之島中央小学校

信条小学校

上通小学校

見附市教育委員会

長岡市中之島町教育委員会

見附市役所

見附市消防署

見附天使幼稚園

株式会社山常組

富川建設株式会社

株式会社上熊組

割烹柳屋

有限会社あわづや

パン・ド・ネイヴル

下関屋菓子店

山崎ベーカリー本町本店

ガトウ専科

ホンダカーズ長岡東

カーリンク見附店

有限会社野辺園

リッチグループ

井カラシ美容グループアクイール

コバヤシ理容室

グルーミングハウス CIRCE

JA にいがた南蒲見附北部カントリーエレベーター

清水満（個人農家）

イングリッシュガーデンホテルレアント

みつけタクシー

したみちオフィス株式会社

Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

2, 795ドル

Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

0

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

無

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

活動エリア内の全小学校（11校）の子どもたち（4・5・6年生）、活動エリアにおける支援者、および、JCI見附メンバー

Objective 目的

説明：(例1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

<子どもたちに対して>

- ◆見附地域という少子高齢化の進む地方において、将来は故郷に戻ってくるというきっかけとなるような思い出の体験とする。
- ◆小学生という将来の夢が膨らむ年代に対し、憧れている職業に係る仕事体験をしてもらう。
- ◆職場のプロフェッショナルによる実技指導を通し、職業に対する多面的理解（楽しさや厳しさなど）を図る。
- ◆将来の目標を発見し、または、再確認することにより、意識の変革、または、革新を促し、ポジティブな変化を創り出す。
- ◆夏休みに開催することから、集中して将来を思慮できる期間を設ける。

<支援者に対して>

- ◆事業承継、後継者の問題を解決し、見附地域活性化をするためには、企業の永続と子どもたちからあこがれの存在でなければならないということに対し、企業や地方公共団体、JCI見附メンバーの企業の社会的責任感を高める。

<JCI見附メンバーに対して>

- ◆子どもたちと一緒に行動をしてもらい、子どもたちが人生で初めての仕事体験をしている姿を見るなかで、自分が子どものころに、また仕事を始めたばかりの頃に持っていた感情や熱意を思い出すきっかけにする。
- ◆子供たちに自分たちの就いている仕事について、現場体験を通して教えることにより、仕事の魅力を再認識する。
- ◆事業を通して、今就いている職業に対する未来を創造する力を養い、地域の子どもたちに夢を与え続けるという社会的責任感を高める。

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

みんなの“夢”をかなえよう！！～あこがれの仕事体験ツアーズ～

- ①事業実施日前に、各教育委員会と各小学校に依頼し、将来の夢や憧れている職業のアンケートを子どもたちに対して行う。
- ②①のアンケート調査およびソーシャルマーケティング調査に基づき、仕事体験を実施して欲しい支援者に対し、本事業主旨説明とスケジュールの依頼をする。
- ③子どもたちに対して、紙面とWEBサイトにより参加応募を募る。
・参加応募目標：135名（参加応募対象：1428名）

- ④ 8月19日～22日、25日の5日間にわたって、仕事体験を実施する。
- ⑤ 子どもたちや支援者、および見附地域に向けて、新聞媒体によりプレスリリースをする。

Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

◆目的達成

<子どもたちに対して>

- ・ 将来の夢や憧れている職業への仕事体験を、実際の職場に行き、肌で感じて喜んでもらえた。
- ・ 興味を持った仕事体験ということで、真剣なまなざしと笑顔が絶えなかった。

<支援者に対して>

- ・ 子どもたちの真剣な姿勢に触れることにより、企業の永続と子どもたちからあこがれの存在でなければならないという意識が生まれ、企業や地方公共団体、JCI見附メンバーの企業の社会的責任感が高まった。

<JCI見附メンバーに対して>

- ・ 特に職業体験先への引率を通して、自身の仕事ではない仕事体験先で真剣に取り組む子どもたちの反応を間近で感じ、今後は今就いている職業に対する未来に役立て、地域の子どもたちに夢を与え続けるという社会的責任感を養うことができた。

◆想定外の結果

- ・ 子どもたちに対して支援者からの自発的対応により、仕事体験の記念となるおみやげをサプライズ提供していただき、子どもたちは喜びに溢れていた。
- ・ 普段交流の少ない他小学校の子どもたち同士の友達の輪が、共通の仕事体験を通して生まれた。
- ・ 子どもたちから、その子どもたちの家族へと仕事体験を通じた歓喜が伝えられ、保護者からJCI見附に対する御礼の言葉を多数いただいた。
- ・ 子どもたちの参加応募につき目標135名のところ、目標値を超える応募数（142名）があり、参加につき抽選となった。当日の実際参加者は、111名であった。

Actions Taken 行動

説明：

◆2012年

10月 準備委員会発足

◆2013年

2月 仕事体験実施先企業・地方公共団体とのミーティング開始

4月 子どもに対し「将来の夢」と「憧れている職業」についてアンケート調査

5月 アンケート調査、各種職業希望ランキングWEBサイト調査に基づき仕事体験実施先企業の選定終了

6月26日 事業計画書完成

7月16日 小学校向けの趣旨説明訪問・申込書およびポスター配布実施

7月24日 紙面申込書締切

7月25日・26日 紙面申込書回収

7月27日 WEBエントリー締切

8月 参加につき抽選および抽選結果の連絡

8月19日・20日・21日・22日 事業実施

8月24日 ファッションモデル体験のためのステージ設営・リハーサル

8月25日 事業実施

8月29日 地域機関紙「みつけ新聞」プレスリリース

体験風景の写真をまとめたチラシの各小学校・支援者への配布

Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

◆考察

・見附地域は総人口約4万人の地域です。本事業を通じて少子高齢化が進むこの地域を活性化し、子どもたちに夢を与え続ける役目を担っているのは企業と地方公共団体であると再認識した。そして、企業と地方公共団体をつなぐ役目を担っているのはJCI見附であると強く思い直した。

・子どもたちの参加応募数の超過に対する抽選により、参加ができなかった子どもたちに対しても今後のJCI見附の社会的責任として、本事業を継続的に行う又は別の事業の視点からも、見附地域すべての子どもたちに対する夢を与える機会の均等を図る必要性がある。

◆改善策

・継続的に本事業を行う場合には、事業趣旨説明により時間をかけ、賛同いただく支

援者数を増やし実施日の延長をすることで、子どもたちの参加応募数の超過に対する対策を図る。

・本事業では問題は起きなかったが、仕事体験先で体調が悪くなった子どもさんがいた場合、スタッフが対応する体制だけではなく、保護者へも確実に連絡が取れるように、連絡手段の確立をすべき点が掲げられる。

◆推奨

・支援者からの賛同により、基本的には会場費のみで済むことから小規模のLOMでもできる。

・子どもたちに対し仕事体験中の写真を配布したが、あらかじめこちらで決めたアングルの写真を数枚撮って、その写真を人数分印刷して渡すと事業遂行スケジュール上スムーズに行く。

Objectives, Planning, Finance and Execution 目的、計画、財務、実施

What were the objectives of this program?

このプログラムの目的は？

<子どもたちに対して>

- ◆見附地域という少子高齢化の進む地方において、将来は故郷に戻ってくるというきっかけとなるような思い出の体験とする。
- ◆小学生という将来の夢が膨らむ年代に対し、憧れている職業に係る仕事体験をしてもらう。
- ◆職場のプロフェッショナルによる実技指導を通し、職業に対する多面的理解（楽しさや厳しさなど）を図る。
- ◆将来の目標を発見し、または、再確認することにより、意識の変革、または、革新を促し、ポジティブな変化を創り出す。
- ◆夏休みに開催することから、集中して将来を思慮できる期間を設ける。

<支援者に対して>

- ◆事業承継、後継者の問題を解決し、見附地域活性化をするためには、企業の永續と子どもたちからあこがれの存在でなければならないということに対し、企業や地方公共団体、JCI見附メンバーの企業の社会的責任感を高める。

<JCI見附メンバーに対して>

- ◆子どもたちと一緒に行動をしてもらい、子どもたちが人生で初めての仕事体験をしている姿を見るなかで、自分が子どものころに、また仕事を始めたばかりの頃に持っていた感情や熱意を思い出すきっかけにする。
- ◆子供たちに自分たちの就いている仕事について、現場体験を通して教えることにより、仕事の魅力を再認識する。
- ◆事業を通して、今就いている職業に対する未来を創造する力を養い、地域の子どもたちに夢を与え続けるという社会的責任感を高める。

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように JCI の活動計画と合っていますか？

- ◆見附地域というローカルに対し、本事業によって持続的に子どもたちへ将来の展望を描かせること。
- ◆見附地域がよりよい地域社会となるように企業や地方公共団体の社会的責任として、子どもたちの将来の夢の舞台づくりを喚起させるためのリーダーシップを JCI 見附が担うということ。

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算計画は事業の財務管理の為の効果的なガイドになりましたか？

- ◆予算 2, 795 ドル
- ◆決算 2, 341 ドル
- ・予算内に事業が遂行され、支援者に事業目的を明確に伝えることにより、協賛金という直接的な支援ではなく、想定していた仕事体験用の材料費は無償提供いただくことで約 450 ドルの予算節減へとつながった。

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は JCI のミッションとヴィジョンを推進しましたか？

- ◆JCI MISSION
少子高齢化に悩む小さな見附地域に対し、子どもたちに見附地域の魅力として夢を与えることで、見附地域から居所を移すことを防止するというポジティブなマインドを醸成した。
- ◆JCI VISION
グローバル・ネットワークの確立のためには、LOMの存続が必須条件であり、LOM内に子どもたちが大人になっても定住し、活気に満ち溢れながらLOM活動エリア内の企業で雇用を生むことが必要であると理念を掲げた。

※画像4つ必要

JCI MITSUKE

publicity

“Activities of
dream job
for children”

みんなの夢をかなえよう!
あこがれのしごと体験ツアー

JCI®

今年もJCIが主催するあこがれのしごと体験ツアーを開催します!

11月19日(土)～25日(金)開催!

TEL 026-4298-0433

Let us
dreams !

JCI MITSUKE

one
dream



Children are making cake.
We got the material of the cake for free !!

Community Impact 地域社会への影響

How did the Local Organization measure community impact for this project?

どのようにして、LOM は、このプロジェクトによる地域社会への影響を測りましたか？

体験風景の写真をまとめたチラシを活動エリア内の全小学校（11校）と全支援者へ配布するとともに御礼に行き、感謝の言葉をいただいた。

下記に、一部をご紹介します。

◆「将来、東京などの都会に行っても、大人になった時に今回の体験を思い出して欲しい。たった1人でも戻ってきてくれたら嬉しい。」（支援者）

◆「義務教育以外に、前向きに物事を知るという楽しみ方や物事を知りたいという勉強の仕方を学ばせる良い機会だった。」（保護者）

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生した実際の地域社会への影響を記述してください

◆2013年8月29日発行の地域機関紙「みつけ新聞」プレスリリースでは、記事の見出し「あこがれの仕事を応援 見附JCが職業体験」として1面を飾っていた。「みつけ新聞」の発行部数は約1万部であり、見附地域の人口の約4分の1以上に拡散された。

◆過年度のJCI見附の主な事業は、活動エリア内の祭りや相撲大会が中心であったが、子どもたちの将来のための事業を実施したことで、見附地域に対してJCI見附の社会的認知度が向上した。

※画像4つ必要

JCI MITSUKE

dreams
for
the
future



JCI MITSUKE
has supported
the dreams of
children !



Local newspaper
of Mitsuke region.

JCI MITSUKE

dreams for the future

5 days
dream activities !



Summer memories
of Mitsuke region !!

Flyer — Various dream job for children —

Alignment to One or More of the Ten Principles through Concrete Measures

10 プリンシプルの一つ以上への具体的な取り組み

Which of the ten principles of CSR did this project target?

CSR の 10 の原則のうち 何をこのプロジェクト目標にしましたか？

4つの大きなカテゴリの中から、それぞれ1つずつ目標を掲げました。

◆人権について

・「企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権の擁護を支持し、尊重する。」という項目に関して、日本国憲法第22条職業選択の自由の保障につき人権の擁護を目標とした。

◆労働基準について

・「雇用と職業に関する差別を撤廃する。」という項目に関して、視野の狭い子どもの年代に対し地域における多業種の仕事体験を用意し、それぞれの現場でそれぞれの職業の良さを伝え、職業に対する思い込みを緩和することで差別撤廃を目標とした。

◆環境について

・「環境問題の予防的なアプローチを支持する。」という項目に関してファッションモデルという仕事体験の中で、ファッションという消費財につき、暑い夏を快適に過ごせるコーディネートによるファッションショーを通じて、エコライフの啓蒙を行うことでエアコンなどの使用率を抑えることを訴える。これにより、CO₂の削減や消費電力の削減を間接的に訴求することもできる。

◆腐敗防止について

・「強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。」という項目に関して、見附地域の企業・地方公共団体が一つのプロジェクトととして、子どもたちの将来を考えることにより、地域における協調性の向上の中で腐敗の防止を目標とする。

How did this project contribute to the promotion or implementation of the ten principles of CSR?

どのように、このプロジェクトは、CSR の 10 の原則の実現または促進に関与しましたか？

◆人権について

・ 仕事体験につき、多様な職業を選択肢として用意したことで、職業選択の自由の保障につき人権の擁護を促進した。

◆労働基準について

・ 実際にそれぞれの現場でそれぞれの職業の良さと地域における必要性を伝え、職業差別撤廃を促進した。

◆環境について

・ 暑い夏を快適に過ごせるコーディネートによるモデルという仕事体験を通じて、エコライフを促進した。

◆腐敗防止について

・ 見附地域の企業・地方公共団体が一つのプロジェクトととして見附地域の新しいネットワークが実現し、自発的に子どもたちの将来を考えることを促進した。

※画像4つ必要

JCI MITSUKE



For the earth !!

Results Achieved 結果

Which objectives did this program achieve?

この事業は、どの目的を達成しましたか？

<子どもたちに対して>

- ・ 将来の夢や憧れている職業への仕事体験を、実際の職場に行き、肌で感じて喜んでもらえた。
- ・ 興味を持った仕事体験ということで、真剣なまなざしと笑顔が絶えなかった。

<支援者に対して>

- ・ 子どもたちの真剣な姿勢に触れることにより、企業の永続と子どもたちからあこがれの存在でなければならないという意識が生まれ、企業や地方公共団体、JCI 見附メンバーの企業の社会的責任感が高まった。

<JCI 見附メンバーに対して>

- ・ 特に職業体験先への引率を通して、自身の仕事ではない仕事体験先で真剣に取り組む子どもたちの反応を間近で感じ、今後は今就いている職業に対する未来に役立て、地域の子どもたちに夢を与え続けるという社会的責任感を養うことができた。

What were the concrete results of the project?

具体的な結果は、何でしたか？

- ◆活動エリア内の全小学校（11校）の子どもたち（4・5・6年生）のうち111名に対し、将来の夢や憧れている職業への仕事体験を活動エリア内において提供することができた。
- ◆支援者と JCI 見附メンバーとで、少子高齢化に悩む小さな見附地域に対し、活動エリア内に子どもたちが大人になっても定住してもらいたいというポジティブなマインドを生み出し、共有することができた。

※画像4つ必要

JCI MITSUKE

Land construction !

**one
action**

Beautiful styling !



Floral decoration !

Fire fighting !

ページ7

Impact on Local Organization LOM への影響

How did the Local Organization benefit from running this project?

どのように、LOM は、このプロジェクトを運営することから利益を得ましたか？

0

How did the program advance the JCI Mission?

どのように、プログラムを通じて JCI ミッションを促進したのか？

少子高齢化に悩む小さな見附地域に対し、子どもたちの将来の夢や憧れている職業への仕事体験を提供するという事業目的を明確化することで、JCI 見附メンバーのマインドを「見附地域に必要とされる存在であろうとする」ポジティブなマインドへと変化させた。

※画像4つ必要

JCI MITSUKE

For Children !!

For Sponsors !

For JCI MITSUKE member !



positive change !!

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期の影響は、何ですか？

- ◆見附地域という少子高齢化の進む地方において仕事体験をした子どもたちが、将来、夢描いた職業の技術を習得して、故郷に戻ってくるというきっかけとなることに期待する。
- ◆見附JCの発信により、見附地域の企業などが一体となって地域社会を築いていくというポジティブなマインドを促進する。

What changes would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

- ◆今回の職業体験実施先企業・地方公共団体に対する事業趣旨説明については、事業実施の半年前であったが、今後はより早い時期から訪問を開始し、賛同いただく支援者数を増やして事業実施期間の延長をすることで、できる限り多くの子どもたちに仕事体験をしてもらうことができるであろう。
- ◆子どもたちの仕事体験を通じたレポートを見附地域の市民に対して発表する場を設けることも改善策の一つとして考えられる。ただし、子どもたちは小学生ということでレポート発表の練習会の設営と活動エリア内の全小学校（11校）の協力が必要である。

※画像4つ必要

JCI MITSUKE

Questionnaire
a lot of filled !!

**your dreams
will come true**

continue